歴史学習の基本（Ｐ６～７）

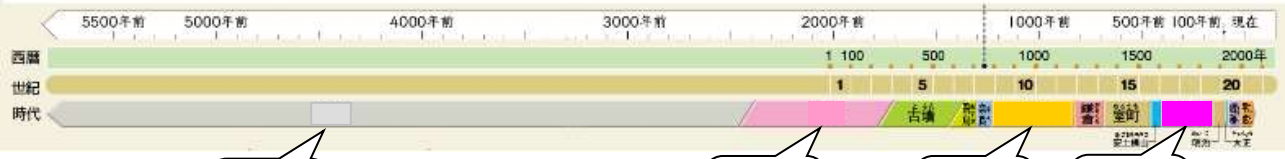
６年　　組　　番　名前

〇年表の見方

☆年表を読み取るには，いつの時代の出来事について書かれているのか調べます。その時に使われるのが「西暦（せいれき）」「世紀（せいき）」「時代」です。３つの言葉の意味を書きましょう。

	意味
西暦	
世紀	
時代	

〇日本の時代を［　　］に書き入れましょう。



等尺年表（とうしゃくねんぴょう）

２００年間を１ｃｍとするなど，その時代がどのくらい続いたのか，一目で分かる年表のことです。

Ｐ８～２３　**1　縄文のむらから古墳のくにへ**

昔の生活や建物の跡（あと）が残っているところを　遺跡（いせき）　と言います。日本にはたくさんの遺跡があります。Ｐ８～１７を読んで，下の［　　］に遺跡名を書き入れましょう。

・青森県青森市の［　　］遺跡（縄文時代）

・福岡県福岡市の［　　］遺跡（弥生時代）

・佐賀県吉野ヶ里町の［　　］遺跡（弥生時代後期）

※地図帳で3つの遺跡の場所を探して赤丸をつけましょう。

覚えよう『貝塚（かいづか）』

人々が食べた貝がらや動物の骨，使っていた土器のかけらが積み重なった遺跡

Ｐ８～１５　**米づくりがはじまったころのむらや人々の様子**

○縄文時代・・・野山の動物，木の実，海や川の魚などをとって生活していた時代

○弥生時代・・・米づくりが広がっていった時代

縄文時代と弥生時代のむらや人々の生活の様子について表にまとめよう。P12～15の絵も見比べて書きましょう。

	縄　文　時　代	弥　生　時　代
土器と時代の関係	使われていた土器（ねん土を焼いてつくった入れ物など）は，表面に縄目の文様がつけられているので，縄文土器とよばれた。この土器を使っていた時代を縄文時代といった。	使われていた土器は，弥生町で初めて発見されたので，弥生土器とよばれた。この土器を使っていた時代を弥生時代といった
人々の服装		
食べ物		
家の様子		
生活や道具の様子		

めあて　それぞれの時代の出来事や人々の様子が分かる。

Ｐ１６～１７　**むらからくにへ**

【問題①】Ｐ１６

弥生時代米づくりが広がることによって，むらとむらとの間で争いが起こるようになりました。その理由を書きましょう。

○　教科書を読んで　［　　］　に言葉を書きましょう。（Ｐ１６～１７）

むらの指導者は，強い力をもってむらを支配する［①　　］になってきた。［①　　］の中には，まわりのむらを従えてくにをつくり，［②　　］とよばれる指導者も現れた。各地の［②　　］や［①　　］たちは，大陸の技術や文化を積極的に取り入れ，くにづくりに役立てた。

ドラえもんからの質問　「青銅器や鉄器が使われるようになって，どのような変化があったのかな。」自分の考えを書きましょう。

覚えよう「卑弥呼（ひみこ）」

２世紀末から３世紀前期に，邪馬台国（やまたいこく）とよばれるくにをおさめていた女王。当時の中国（魏（ぎ））に使者を送りおくり物をしたかわりに，当時の日本（倭（わ））の王と認められ，金印や銅鏡などを受け取った。

Ｐ１８～１９　**巨大古墳と豪族**

覚えよう『古墳（こふん）』

３～７世紀ごろに各地で勢力を広げ，くにをつくりあげた王や豪族の墓として残っている遺跡

５世紀につくられた日本最大の古墳は［　　］古墳です。

大仙（だいせん）古墳とも呼ばれています。（**地図帳で場所を確認しましょう。**）

○古墳には，いろいろな種類がある。形の名前を［　　］に書きましょう。

○古墳の内部には石室（遺体をほうむる部屋）がつくられている。また，はにわや勾玉など，いろいろな出土品が見られる。各地に古墳がつくられた時代を　**古墳時代**　と言う。

Ｐ２０～２１　大和朝廷（大和政権）と国土の統一

○　教科書を読んで　［　　］　に言葉を書きましょう。（Ｐ２０～２１）

古墳時代，奈良盆地を中心とする大和地方に大きな力をもつ国が現れた。この国の中心になった王を［　　］（後の天皇）といい，この国の政府を［①　　］（［　　］政権）という。［①　　］は，５～６世紀ごろには九州地方から東北地方南部までの豪族や王を従えるようになった。（国土の統一）

このころ，中国や朝鮮半島から日本列島へわたってきて住みつく［③　　］が大勢いた。［③　　］の中には，建築や土木工事，焼き物などの技術を身に付けた人々がおり，進んだ技術を日本にもたらした。

☆　**ふり返り**

縄文時代から古墳時代までをまとめて感じたことや疑問に思ったことなど，ふり返りを書こう。

Ｐ２４～３３　**2　天皇中心の国づくり**

Ｐ２４～２５　**聖徳太子の国づくり（古墳時代から飛鳥時代へ）**

☆　天皇の子として５７４年聖徳太子が生まれる。５９３年，天皇を助ける役職につく。このころ，豪族たちがたがいに争い，天皇は豪族を従えるのに苦労していた。聖徳太子は，当時大きな力をもっていた蘇我氏とともに天皇中心の新しい国づくりにあたった。

○　聖徳太子がやったことを，教科書を読んで［　　］に言葉を書いてまとめよう。（Ｐ２４～２５）

①　隋（今の中国）の進んだ制度や文化，学問を取り入れるため［　　］らを使者として隋に送った。このとき送られた使節団を［　　］という。

②　役人の身分を１２段階に分けた［　　］を決め，家柄に関係なく，能力や功績で役人を取り立てた。

③　政治を行う役人の心構えとして［　　］を定めた。

④　仏教の教えを広めるために，６０７年［　　］を建てた。

Ｐ２６～２７　**大化の改新と天皇の力の広がり（奈良時代）**

☆　聖徳太子の死後，大きな力をもった蘇我氏を中大兄皇子（後の天智天皇）と中臣鎌足（後の藤原鎌足）が協力して６４５年にたおし，天皇中心の国づくりを始めた。

このことを大化の改新という。

☆　大化の改新によって，都から全国へ支配を広げていくしくみが整備された。現代に続く年号も初めて定められた。

○　**政治の仕組みを覚えよう**　教科書を読んで［　　］に言葉を書いてまとめよう。（Ｐ２６～２７）

①　豪族が支配していた土地や人々は，国のものになった。

②　力の強かった豪族は［　　］（位の高い役人）として政治に参加した。地方の豪族も役人になり，それぞれの地方を治めた。

③　藤原京という日本で最初の本格的な都が飛鳥（奈良県）につくられた。

④　国を治めるための法律を作った。これを［　　］という。

⑤　［　　］，［　　］，［　　］といった税のしくみをつくった。

⑥　役所や［　　］を建てたり，都や九州を守る［　　］の役を務めたりした。

Ｐ２８～３１　仏教の力で国を治める～大仏をつくる

☆　７１０年に都が平城京に移る。都はにぎわうが地方の人々の生活は重い税のためとても厳しかった。

☆　７２４年聖武天皇が位につく。

☆　全国各地で災害が起きたり病気が流行したり，貴族の反乱が起きたりした。

☆　政治を安定させるため，都を次々と移す。

☆　仏教の力で社会の不安をしずめようと，７４１年に国分寺を建てる命令を出す。また，７４３年奈良に大仏をつくる詔（天皇の命令）を出した。

○　教科書を読んで［　　］に言葉を書いてまとめよう。（Ｐ３０～３１）

詔が出された後，僧の［　　］は，弟子たちとともに人々によびかけ，大仏づくりに協力した。また，すぐれた技術をもつ［　　］たちも活やくした。

Ｐ３２～３３　大陸の文化を学ぶ

○　教科書を読んで［　　］に言葉を書いてまとめよう。（Ｐ３２～３３）

聖武天皇は大陸の文化を取り入れるために［　　］（中国）へ使者を送った。

この使節団を［①　　］という。当時は航海の技術が発達していなかったので，航海は命がけだった。［①　　］によって，大陸の文化や文物が日本にもたらされた。また，すぐれた学者や技術者も海を渡ってやってきた。

覚えよう「鑑真」

日本に仏教を広めるため中国から招いた。何回も航海に失敗したが，６回目でやっと日本にたどり着いた。しかし，こうした苦労がもとで両目の視力を失ったといわれている。鑑真は仏教だけでなく，薬草の知識も広めるなど大いに活やくした。

☆　**ふり返り**

飛鳥時代から奈良時代までをまとめて感じたことや疑問に思ったことなど，ふり返りを書こう。

Ｐ３６～４０　**3　貴族の暮らし（平安時代）**

☆　７９４年，都が平城京から平安京（京都府）に移された。このころから，約４００年続く平安時代が始まる。

☆　この時代は，朝廷の政治を一部の有力な貴族が動かしていた。

○　教科書を読んで［　　］に言葉を書いてまとめよう。（Ｐ３７）

①　平安時代の貴族の中でも中臣鎌足の子孫である［①　　］は，むすめを天皇のきさきにして天皇とのつながりを強くして大きな力をもった。

②　［①　　］は，「もち月の歌」をよんだ［　　］のころに最も大きな力をもった。

③　貴族は，［　　］のやしきでくらし，［　　］や［　　］などを楽しんだ。

Ｐ３８～４０　**貴族のくらしの中から生まれた文化～今に伝わる年中行事**

☆　８９４年，遣唐使が停止されたが，その後も中国から貿易船がやってくるなど交流は続いた。この時代は，中国文化の影響を受けながらも，日本独自の文化が発展した。

○　教科書を読んで［　　］に言葉を書いてまとめよう。（Ｐ３８～３９）

①　［　　］とよばれる男性の服装。［　　］とよばれる女性の服装。

②　貴族は，琴，琵琶，笛などをたしなみ，囲碁や双六で遊び，男性は蹴鞠や乗馬もした。

③　漢字から［　　］がつくられた。この文字を使って，自分の気持ちなどを細かく表現できるようになった。［　　］が書いた「源氏物語」や［　　］が書いた「枕草子」が有名である。

④　朝廷を中心として，美しくはなやかな**日本風の文化**（［　　］）が生まれた。

⑤　貴族のくらしは［　　］が中心だった。その中には，お正月の行事や端午の節句，七夕など現在まで続いている行事も多い。

☆　**ふり返り**

平安時代をまとめて感じたことや疑問に思ったことなど，ふり返りを書こう。